

# 全国手すき和紙展

日時 令和元年 9月5日(木)  
午前10時～午後4時

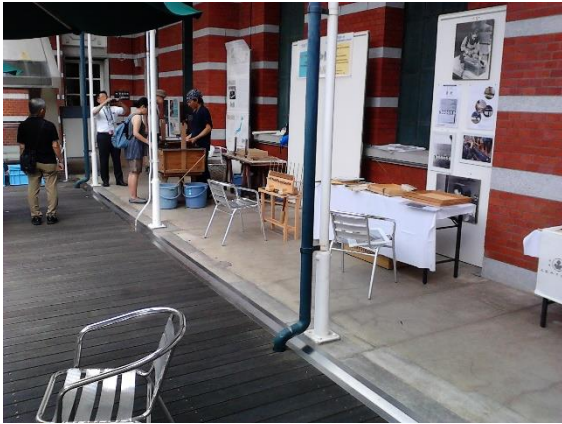
於 京都文化博物館 別館中庭

主催 全国手すき和紙連合会

協力 黒谷和紙協同組合

全国手漉和紙用具製作技術保存会

後援 京都府・京都新聞・ICOM 京都大会



展示会場の全景

紙漉き実演は黒谷和紙協同組合の林理事長さん。来訪者が一旦引けた昼休み頃の風景だが、午前10時開始の予定を9時30分に早めてスタートした。開始直後は多くの来訪者や、紙漉き体験をする海外の参加者、それら取材する地元テレビ局などで混雑した。



展示の左端の通路側では各産地のパンフレットなどを配布した。全てを配布した出展者もあった。

和紙産地紹介のDVD映像展示は3産地。

- 1、出雲民芸紙
- 2、越前和紙
- 3、美濃和紙



展示会場の中央右は手漉き和紙用具関連の展示

展示パネルと簀・桁・刷毛などの用具。簀を編むための竹ひごや、萱ひごなど。



展示会場の右側は手すき和紙工程や原材料の紹介パネル

テーブルの上に各産地の手すき和紙。  
2000年和紙委員会の和紙総鑑  
和紙繊維の判定見本帳  
和紙の手帖などの全和連発行書籍



熱心にパネルをご覧になられる来訪者と説明にあたる出展者

中庭での展示の為、休憩で椅子に座りながら展示を見る来訪者も多かった。



手すき和紙実演コーナーでは長時間にわたり写真を撮ったりする来訪者も多かった。

手すき和紙の実演だけでなく、実際に多くの来訪者にも、簀桁を手に取って紙を漉く体験をしていただいた。

手すき和紙の実演と体験は、好評だった。



京都文化博物館別館では ICOM 京都の委員会の一つがオフサイトミーティングを開催していて、約 100 名くらいの参加者らがシンポジウムを行っていた。

海外の参加者だけでなく一般の来訪者も含めて約 100 名近くの方に実際に紙すき体験をしていただいた。



手すき和紙用具作りの実演と説明の担当は  
全国手漉和紙用具製作技術保存会の井原会  
長さん。

写真は熱心に指導を受けながら簀編みに取  
り組む来訪者で、30分くらいの間、説明を  
受けながら簀編みを体験していた。



各産地の手すき和紙の展示

和紙のサンプル配布に関心を持って持ち帰  
る方や、和紙の手帖（英語版）を手にとって  
委託販売にご協力いただいた楽紙館様に足  
を運ぶ海外からの来訪者も居られた。



中庭部分でのオープンスペースでの展示の  
ため、横風で展示の和紙が飛ばされそうに  
なる。

置いてある石は、重しとして活用したもの。

おおよその来訪者数 約 500 名

紙すき体験をした数 約 100 名

用具製作体験をした数 約 50 名

全国手すき和紙展を取材をいただいた  
報道機関 京都新聞・KBS 京都

多くの方々のご来場有難うございました。

長谷川和紙工房  
長谷川 聡